

混沌とした中から

2007年年頭に当たって

恒例の年頭に当たってです。この何年かはセキュリティについてばかりが年頭の内容になっています。しかし、今年もセキュリティかな。

2年前にも今年はセキュリティだと書きましたが、現状はぜんぜん変化していないというのが実感です。あれだけ叫ばれていても、いろいろな策が講じられていても減っていません。Winnny 自体が悪いとはいいませんが、Winnny を使っているために発生する情報漏洩がなくなっていないのも現実の話です。昨年念頭で事件発生が減っていないのは表に出なかったのが出るようになったからもあると書きましたが、実際はいまだに小さい事件は表面化していないのではないのでしょうか。のどもと過ぎれば元に戻ったという人もいるでしょうし、馬耳東風の人もいるでしょう。どうしようもないというのが正直なところかもしれません。しかし何とかできないものではないのでしょうか。

まず、現状の反省です。どうして事件が減らないかですが、いろいろ手を尽くしていても最後は個人にかかっているためではないのでしょうか。勝手な判断、勝手な思い込み、特に自分勝手が問題です。これまでどの価値観の変化に対応できていないことがあります。これまでの仕事（特に日本における）はいつでもどこでもというのがほめられたことでした。時間が無ければ家にもって帰って仕事をする。自分のパソコンで資料を作成する。電車に乗って座ったらパソコンを開けて仕事。どこでも仕事ができるのが推奨されてきたところがあります。土日に会社のパソコンを持ち帰るというのも一般化していました。しかし、情報セキュリティの事故が問題化して全くこの価値観が反対になりました。勝手に情報を持ち出すことはできません。自分のパソコンを仕事に使うことはできません。それでも便利だから、自分だけは大丈夫と考えている人がどれだけ多いことでしょうか。技術が無くて思い込んでいる人も大変ですが、へんに自分の技術レベルに自信を持っている人が最も大変です。技術が無いことがわかっていて思い込んでいる人はまだ説明し、理解してもらえれば修正することができます。技術も無く持っているつもりで思い込んでいる人と技術や知識があつて勝手にする人を修正する人は大変です。どれだけ説明しても理解しようとしないうけですから。管理するほうもそれだけの知識と技術を持たなければならないのですが、それでもやっていい事とよくないことを説明することはできます。前回と前々回に説明した「性善説と性悪説」で言う性悪説ですが、人間の行動は性悪説に多くなって考えるなければならないということをご説明しても勝手なことをする人が耐えませんが、どれだけ情報を漏らそうとしてもらすわけではなく勝手なことをする人が絶えないから事故が減らないということが理解されないのです。もちろん頭では理解しているのですが、それでもなお自分だけは大丈夫だという考えは捨てないのです。

自分は仕事ができるのだと思い込んでいる人がいます。仕事をするためには自分のやっていることは間違いない、動きがおかしいのは誰かが何かをやったためだといってくる人がいます。仕事をやるためにはやりやすい環境が重要で、セキュリティなんて二の次という人がいます。環境の変化に順応できない人で、現在では仕事をやってはいけない人なのかもしれません。能力が無いのですから。

2007年、環境がいろいろ変わってくるかもしれません。これまでの価値観が変わってきています。基本的なことができなければ、変化についてこれなければ制約を受ける。そのような戦いがあるかもしれません。（連載終了）

(今週の情報誌から)

○日経エレクトロニクス 1月1日号

特集 国プロ再生計画

→これまでもいろいろな国家プロジェクトがあった。TRONプロジェクトや第五世代、次世代コンピュータの開発プロジェクトなど。国家で開発するプロジェクトは必要なのか。「お付き合い」から戦略活用へ今こそ意識を変える必要があるのかもしれない。

付録 組み込み速習キット

→次号から連載となる「組み込みアカデミー」に使用するキットがついています。システムにマイコンを組み込むためのボードで、昔作っていたワンチップマイコンのような組み込みシステムが作れるようです。

○日経パソコン 12月25日号

特集 パソコン環境の大掃除

→パソコンは使っていくうちにだんだん使いにくくなっていくもの。デスクトップにいろいろなものが貼り付けられたり、お気に入りなが長く長くなったりしてしまう。ファイルフォルダー、システム、インターネットに分けて年末の大掃除。

○a s c i i 2月号

特集 世界の勝ち組 Web 2.0

→インターネット上ではWeb 2.0が新しい利用の仕方、ネット業界のNo.1に躍り出る根底を支えている。

○アスキーdotPC 2月号

特集 LAN接続ハードディスク実践的活用法

→大容量のLAN接続HDDが大容量で安くなっている。家庭に設置するとビデオデータ、写真、保存したいデータなどがバックアップも出来る環境で利用できる。キーワードは「共有」と「バックアップ」。